

平成 29 年度 うさみの園ショートステイ

事業報告書

1 事業運営の概況

平成 29 年 5 月より、人員不足対処の為、定員 20 名の内 10 名を一時休止状態とし運営した。それまで定期的に利用して頂いていた利用者様に、できるだけ影響の無いよう予約調整し、特養の空床利用も積極的に行った。新規利用者の受け入れは少なかったが、結果的に夏場以降には高い稼働状況を維持することができた。平成 29 年度の利用延べ人数 3,469 名、年間稼働率 47.5%となった。

2 事業計画実施状況

(1) 業務の改善

① レクリエーションの充実

サービス担当者会議や利用者様・ケアマネジャーの意見で「ショートステイ利用における利用者の日中の過ごし方に対する不満」が挙げられている経緯から、余暇活動・ラジオ体操等を積極的に実施し、利用者様の利用満足度の向上に努めた。

② 会議・委員会

管理運営会議をはじめ、各種委員会の会議に積極的に参加すると共に、委員会で取り上げられた課題・改善策等をユニット運営に反映させた。

③ 給食業務

お楽しみランチ等を提供し、日常の食事に変化を持たせると同時に、個々の利用者様の食事形態を把握・提供することで、安全に適切な摂取量を保てるよう努めた。

④ 個別介護支援

入所サービス提供計画に基づいた短期入所生活介護計画書を作成し、計画書に沿った利用者様単位のサービス提供に努め、定期的なモニタリング・アセスメントを行いサービスの向上に努めた。

(2) 環境整備

インフルエンザや感染性胃腸炎等の感染症に、利用者様・職員とも罹患しないよう日頃から施設内感染を防ぐことに重点を置き、全職員が感染症予防のための

研修や衛生管理を徹底した。特に流行時期は例年通り職員・面会者にマスクの着用と手指消毒、また入所時の検温を徹底することによって、感染症予防に良い効果を得ることができた。

(3) 職員の資質向上

① 内部研修

年間に計画された毎月1回の内部研修に積極的に参加した。

② 外部研修

静岡県社会福祉協議会等、外部団体主催の研修に参加した。

③ 自己研鑽

研修会に参加するとともに、自己による資格取得に向けた学習、自己の資質向上の為、関連する知識・技術の習得に努めた。

(4) 防災対策

① 施設内訓練・研修

大規模地震・火災、その他の災害から利用者様及び職員等の生命・身体の安全と保護を優先するとともに、施設の保全を図るため、防火管理者の計画する訓練に参加し、有事の際の行動の基本体験実習を行った。

② 施設外訓練・研修

関連機関の研修会・訓練に参加、あるいは報告を受けて多様化する防災対策、災害時の対応、災害後の対策を身近に感じ考えることを学んだ。